

高橋直良 警視総監 殿

就任おめでとうございます。

私は、警視庁丸の内署に、東京高等裁判所刑事12部
井上弘通裁判官に対する告訴状をよ件提出した者
です。よ件全べら、「犯罪を構成」^{いかに}から告訴状を返
戻する」とに突き返されました。

私達市民は「法律を犯す行為を犯罪」と認識
しています。

提出した告訴状には犯法法律と犯罪を確認する
方法が明記されています。(必要なら告訴状のコピーを提
出する事が出来ます。)

又、私の知人が告訴事件の捜査状況を問い合わせた
ところ、「本人以外の者には話せない」と言われたので、後日、
知人に私が同行して丸の内署へ行き、同席に回答を求めたこ
ろ、「告訴状の返戻は警視本署の見解である」と言
われてしまいました。警視庁では理由の説明について業務を
遂行させているのでしょうか？

又、知人には捜査にこんな様に見える発言を置いて
きたから、実際には捜査にいきせん。この問題は嘘をつか
なくてはならない問題なのでしょうか？

①何年前かに神奈川県警本部長のミヤマタシがテレビ放映
中に警察官の犯罪を隠蔽していた事が発覚し、会見場で
立往生しました。私はこの放送を観て、警察に対する信頼を
100%失いました。警察がやるべきでない事を目の当りにしたか
らです。その後も警察の不祥事が次々と発覚し続けています。

②全国的に組織ぐるみで行われた「裏金作り」の事実が発
覚し、誰か罰せられたいせん。警察は悪い事をしているのに

と言っている様に受け取ります。

③ 警察官の犯罪が毎日のように新聞紙面に載っています。

④ 発生した事件数を少なく発表し、警察の業績を不当に良く思わせようとする。

⑤ 被害を届けた女性に恥かかせる質問を何回も繰り返す。被害届けを諦めさせた。(痴漢事件)

⑥ 被害者の過失を無理に作り上げて被害届けを諦めさせた。(暴行被害事件)

⑦ 真犯人ではない者を犯人にしたり、事件の幕を引いてしまう。(冤罪)

以上の様に現在の警察は犯罪組織に成り下がっています。表面には出ましても、これが国民の潜在意識であると思います。このような状況の中での就任ですので、職務遂行の大変緊張感ある事と思います。

さて話を元に戻します。その内警察署刑事課長代理の伊藤警部が「自分は説明出来ないので警視庁に聴け」と発言した「犯罪を構成しない告訴状を返戻する」との「見解」の説明を聴かせて下さい。

私には井上弘通の犯罪は警察で捜査しなくてはならない問題であると思います。裁判官の犯罪する世の中には社会が良くなる筈がありません。

裁判官の犯罪を手助けする様な警察の存在は認められません。警察に対する協力も出来ません。

警察の信頼を取り戻す為にも私達が納得出来る説明をお願いします。

伊藤警部の発言は録音にはありますので必要であればビデオに提出しますので私に要求して下さい。

2014年3月1日 大高正二

裁判記録掲載ホームページ <http://www.ohtakasyouji.com/>